

1998

平成10年

1998 10月 | 旧「キラメッセぬまづ」オープン
(平成10年)



1998

45 新成人議会を本会議場で初開催

若者の政治離れに歯止めをかけようと、平成10年度から市議会本会議場で20歳を迎えた新成人の代表者が議員役となり、市長ら市当局に対し市政に関する質問を行っている。新成人による模擬議会は、全国初の試みで、平成13(2001)年には新成人式研究会の第1回成人式大賞でアイデア賞を受賞した。

- 1999 1月 | 新成人議会を初開催 45
(平成11年)
- 3月 | あゆみ橋開通
- 4月 | 沼津御用邸記念公園東附属邸オープン 46
- 4月 | 新南消防署・消防指令センター完成
- 11月 | 駿豆地区の市町村間で住民票の写し及び印鑑登録証明書の広域交付開始

大人の自覚促す沼津市「新成人議会」 成人式大賞ゲット



沼津市が成人式に合わせた新成人議会開催を交際して行っている。新成人代表者も開いてい

沼津市が成人式に合わせた新成人議会開催を交際して行っている。新成人代表者も開いてい

40人が地域づくり提言 アイデア、高評価

平成13(2001)年4月21日 静岡新聞

46 沼津御用邸記念公園 東附属邸オープン

平成6(1994)年の西附属邸の改修・復元に続き、東宮(昭和天皇)の御学問所として設けられた東附属邸も改修された。



- 12月 | 意見書の審議に際し議場で初の手話通訳を実施 47
- 2000 4月 | ミューバス片浜循環運行開始
(平成12年)
- 7月 | ビーバス運行開始
- 11月 | 特例市へ移行
- 11月 | 沼津市庄司美術館「モン ミュゼ沼津」オープン



沼津市の十一月定例議会最終本会議が開かれた十三日、「聴覚障害者の社会参加を制限する欠格条項の早期改正を求める意見書」の審議状況に際し、傍聴席の聴覚障害者に手話通訳で内容を伝える市議員(中央)は、議場を訪れた。議員

沼津市の十一月定例議会最終本会議が開かれた十三日、「聴覚障害者の社会参加を制限する欠格条項の早期改正を求める意見書」の審議状況に際し、傍聴席の聴覚障害者に手話通訳で内容を伝える市議員(中央)は、議場を訪れた。議員

平成11(1999)年12月14日 静岡新聞

聴覚障害者の社会参加を制限する欠格条項の早期改正を求める意見書

1981年の国際障害者年を契機に、民法や刑法の改正など聴覚障害者の自立と社会・経済・文化ほか各分野の活動への参加を目指した行政・企業・市民の理解や支援は、ノーマライゼーションの理念のもと、着実に定着してきているところである。

しかし、その中において今なお医師法・薬剤師法ほか多くの法令において、聴覚障害者が絶対的欠格として個々の障害程度や業務遂行能力などに一切関係なく、資格・免許等から一律に排除されている状況がある。

また、欠格事由が記載されていないものの、結果として聴覚障害者の社会参加を制限している法律もある。著作権法では、録音したビデオテープに手話通訳や字幕をつけて聴覚障害者に普及する自由を認めず、テレビ番組を自由に享受し情報を得て生活向上に資することが制限されている。公職選挙法に関連しては、候補者のテレビ放送に手話通訳

議場で初の手話通訳 審議状況理解に配慮

聴覚障害者ら傍聴

沼津市議会

47 市議会の審議で初めて手話通訳を実施

「聴覚障害者の社会参加を制限する欠格条項の早期改正を求める意見書」の審議に際し、傍聴席の聴覚障がい者に審議状況を伝えるため、議場で初めて手話通訳を実施した。



▲審議の際、手話通訳者が初めて議場に入りました。制限する欠格条項が早期に改正されるよう強く要望する。
なお、この意見書は関係官庁へ送付しました。

ぬまづ議会だより

2000 平成12年

2000